



关于认知科学与塞尔教授的对话

d,
Philosophy and Cognitive Science:
Structure and Conversation

Professor John R. Searle

伯克利分校心智与语言哲学教授

与科学













2008年度2学期木曜1時限
「哲学基礎B」
「認識するとはどういうことか？」

第8回講義(2008年11月27日)

§7 心身問題 その2

唯物論は志向性を説明できるか？

3、心身問題における中心問題： 「同一説はただしいのか？」

- 物理主義Physicalismが有力であり、同一説や機能主義が主流であるとおもわれます。それらは、心を物理現象に還元しようとする。そのときに、躓きの石となるのが、心のクオリアと志向性である。

(1)クオリア

- クオリアの物理現象への還元の難しさは先週確認しました。それに対する物理主義からの反応としては、消去主義も考えられるとおもいます。
- 心を物理現象に還元しようとするときには、こころの存在を認めているのです。しかし、心の存在を認めず、こころについて語る必要がないという立場も可能です。

- クオリアを含めて
- 心の内容には、どのようなものがあるでしょうか?





心の内容の区別

1、クオリア

2、志向性

(1) 非言語的な志向性

(2) 言語的な志向性

志向性とはなにか。

(サール『心の哲学』山本貴光、吉川浩満訳、朝日出版社より)

- **志向状態**とは、例えば、
信念、欲求、希望、恐れ、知覚、記憶、意図、
である。
- **志向性**とは、このような状態の心の性質である。
- **志向状態**には、自らを超えて世界の中の対象と事態を指し示す能力がある。

- 志向状態が、命題を内容とすることがある。
S(p) (Sは命題的態度と呼ばれる)
「私は『p』を知っている」
「私は『p』を欲する」
「私は『p』を約束する」
「私は『p』を質問する」
「私は『p』を命令する」 など。
- 志向状態が単に対象を内容とすることがある。
S(n) (非言語的な志向性)
「私は紅葉を見ている」 (知覚)
「私はベジマイトの味を覚えている」 (記憶)
「私はマリリンを愛する」 (意図)
「私はコーラを飲みたい」 (欲求)

		因果的自己言及	適合方向	因果関係の方向
認知	知覚	○	mind ↓ world	mind ↑ world
	記憶	○	↓	↑
	信念	×	↓	空
意思決定	行為中の意図	○	↑	↓
	事前の意図	○	↑	↓
	欲求	×	↑	空

intentionality(志向性)と intensionality(内包性)の区別

- Intentionality(志向性)は、世界の中の対象と事態へと方向付けられ、関与し、その一部となる。
- Intensionality(内包性)とは、外延性(extensionality)に対立するもので、通常、文や言明の意味Sinn(指示Bedeutungと区別されて)と呼ばれているものである。

- このような志向性を、物理主義は説明できるだろうか？

Figure 1

“How can I be hungry or thirsty?” 115

the angiotensin2 gets inside the hypothalamus (視床下部)

① ↓ trigger

■ ② a certain neuron activity = ③ a feeling of thirst
(qualia)

④ ↓

⑤ ↓

■ ⑥ a certain neuron activity = ⑦ a intentional feeling i.e. a
desire to drink a water (nonlinguistic intentionality)

⑧ ↓

⑨ ↓ (欲求)

■ ⑩ a certain neuron activity = ⑪ “I want to drink water”
(linguistic intentionality)

④と⑧は因果関係である。⑤と⑦も因果関係だろうか。

Figure 2 (推論)

- ①ある脳過程 + (ある脳過程) = ②「私は水が飲みたい」(欲望) + (「水道の水をコップに入れば、水を飲むことが出来る。」などの様々な信念)
③ ↓ ④ ↓
- ⑤ある脳過程 = ⑥「私はそのために、コップをとろう」
⑦ ↓ ⑧ ↓ (事前の意図)
- ⑨ある脳過程 = ⑩「私はそのために、手を上げよう」(行為中の意図)

③と⑦は因果関係、④と⑧は実践的な推論関係
仮に①=②、⑤=⑥、⑨=⑩だとすると、③=④、⑦=⑧とならなければならぬが、そうはなっていない。

Figure 3 (心的因果)

- ある脳過程 = ① “I raise my arm”
「私は腕を上げる」(行為中の意図)
 - ② ↓
- a neuron firing in the motor cortex
(運動皮質でのニューロンの発火)
 - ↓
- the secretion of acetylcholine at the axon end plates of my motor neurons
(運動ニューロンの軸策突起の末端でのアセチルコリンの分泌)
 - ↓
- the stimulation of the ion channels (イオン・チャンネルの刺激)
 - ↓
- the attack on the cytoplasm of the muscle fiber (筋肉繊維の細胞質への作用),
 - ↓
- the arm rises

小レポートの課題

- 志向性について我々が報告することが出来る。
- もし志向性が、物理現象に付随するだけであるとすると、どうしてわれわれはそれについて語る事が出来るのだろうか？
- ここに困難があるのではないだろうか。
- この困難について説明し、その解決を書いて下さい。